
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第4週
(1月20日～1月26日)

* 2014年1月29日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成26(2014)年1月30日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年4週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		1週	2週	3週	4週	年累計	4週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	4	73	43	52	172	315	1,189
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢		2			2	2	6
	腸管出血性大腸菌感染症						8	28
	腸チフス			1	1	2	1	4
	パラチフス		1			1	1	1
四類	E型肝炎		1		2	3	4	8
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎						2	8
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病		1			1		1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病		1			1		13
	デング熱			1	2	3	3	8
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱								
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		1週	2週	3週	4週	年累計	4週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア							5
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症		8	1	4	13	16	73
	レプトスピラ症							2
ロッキー山紅斑熱								
2014/1/29集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 52件 肺結核 27件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 16件、疑似症 3件、年齢は5歳未満 1件、20代 3件、30代 4件、40代 11件、50代 7件、60代 8件、70代 7件、80代 8件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 49件、ネパール 1件、メキシコ 1件、米国 1件であった。

〈三類感染症〉

腸チフス 1件 患者、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。2013年第19週以降、国内感染が推定される事例は計11件となった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

デング熱 2件 患者 2件、年齢は10歳未満 2件、推定感染地はマレーシア 2件であった。この2事例は家族で、姉と弟であった。

レジオネラ症 4件 肺炎型 4件、年齢は50代 1件、70代 3件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は水系感染(施設又は実家の循環風呂) 3件、その他(不明) 1件であった。70代の2事例は、同じ老人福祉施設に入所しており、施設内の循環風呂からの感染が推定されている。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年4週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		1週	2週	3週	4週	年累計	4週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢		2	2	3	7	12	49
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2	2		4	3	13
	急性脳炎 *1		1		1	2	10	36
	クリプトスポリジウム症		1		1	2		2
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3	3	6	3	18
	後天性免疫不全症候群		12	16	5	33	16	65
	ジアルジア症						1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2		3			3	4	21
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2		1			1	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2		14	3	4	21	15	144
	先天性風しん症候群		1		1	2		5
	梅毒		7	8	14	29	13	64
	破傷風			2			2	6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1	3
	風しん		3	2	4	9	9	32
麻しん			1		1	18	46	
2014/1/29集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管 3件、年齢は40代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、その他(不明) 2件であった。

急性脳炎 1件 病原体は単純ヘルペスウイルス、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

クリプトスポリジウム症 1件 患者、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。後天性免疫不全症候群(第3週報告)との重複感染を認めている。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件 A群 1件、G群 1件、検査未実施 1件、年齢は60代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は創傷感染 2件(左下肢壊疽 1件、右下腿 1件)、その他(不明) 1件であった。

後天性免疫不全症候群 5件 AIDS 1件、無症候キャリア 4件、AIDS患者の年齢は30代、無症候キャリアの年齢は30代 2件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は同性間性的接触 5件であった。

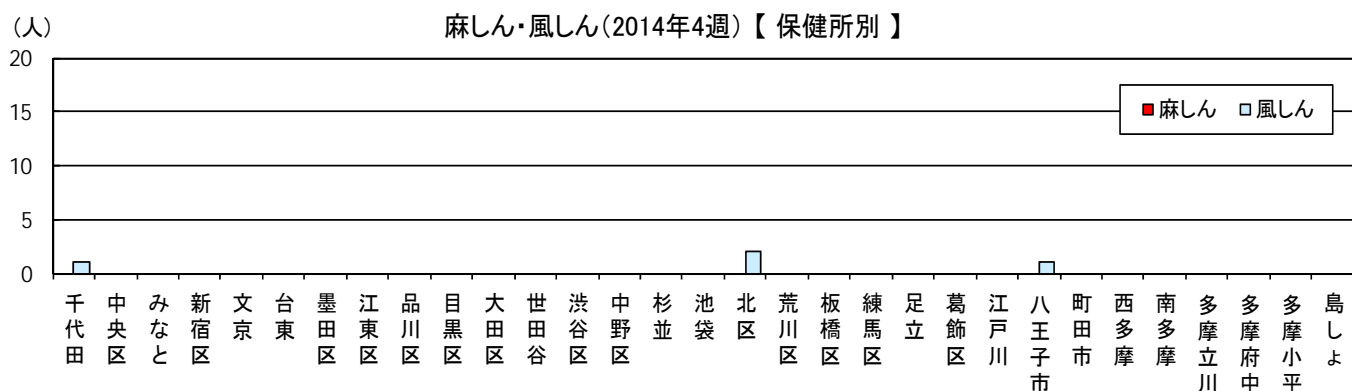
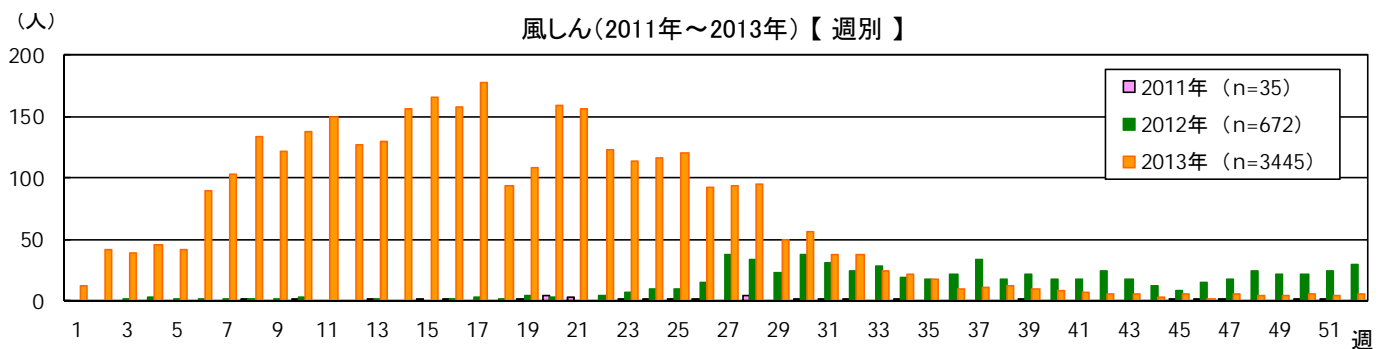
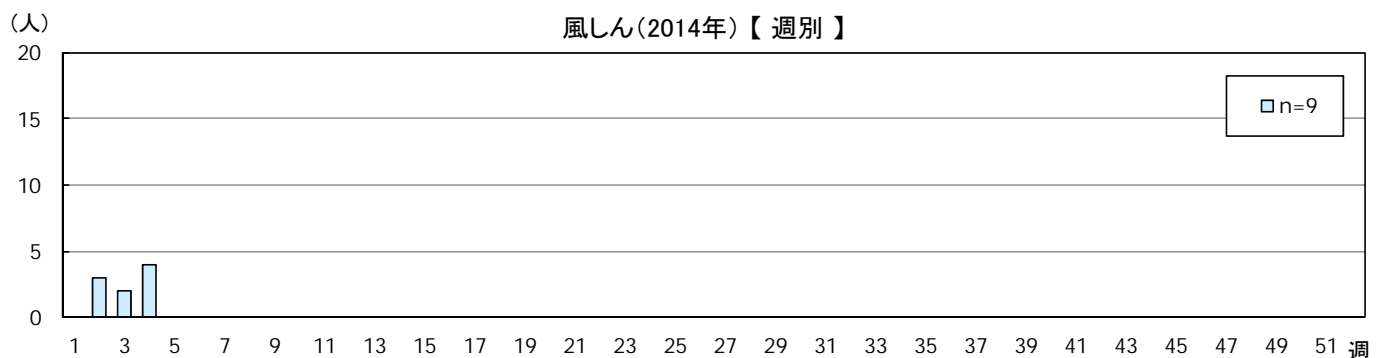
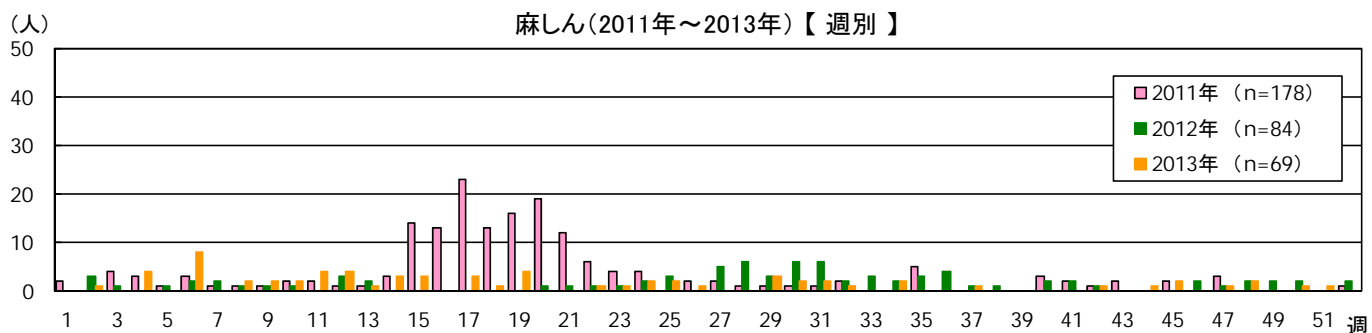
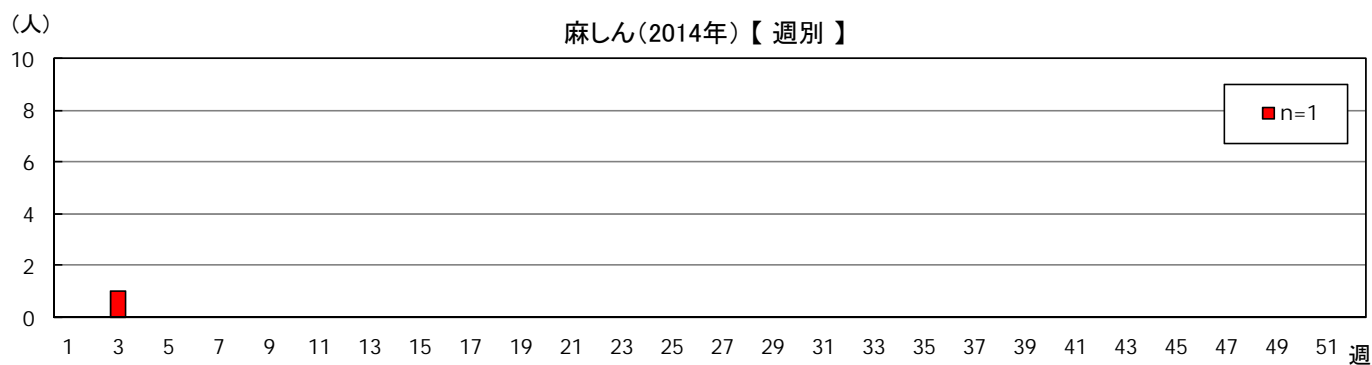
侵襲性肺炎球菌感染症 4件 血清型は不明 1件、未実施 3件、年齢は30代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(不明) 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 4件であった。

先天性風しん症候群 1件 CRS典型例、年齢は5歳未満、母親の妊娠中の罹患歴あり(第6週、推定感染地は国内、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった)。

梅毒 14件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 7件、先天梅毒 1件、無症候梅毒 5件、年齢は5歳未満 1件、20代 8件、30代 3件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 14件、推定感染経路は性的接触 12件(同性間 7件、異性間 5件)、母子感染 1件、その他(不明) 1件であった。早期顕症梅毒Ⅱ期 1件と先天梅毒 1件は親子である。

風しん 4件 臨床診断例 3件、検査診断例 1件、年齢は20代 2件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、その他(不明) 1件、風しん含有ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 2件であった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年4週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		1週	2週	3週	4週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	26	123	85	85	0.32	262	264
	咽頭結膜熱	30	111	58	57	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	479	404	622	2.37		
	感染性胃腸炎	493	3,149	2,936	3,397	12.97		
	水痘	99	442	201	298	1.14		
	手足口病	2	21	13	9	0.03		
	伝染性紅斑	11	94	108	87	0.33		
	突発性発しん	13	125	149	118	0.45		
	百日咳		5	2	1	0.00		
	ヘルパンギーナ	1	4	2	4	0.02		
	流行性耳下腺炎	9	62	34	34	0.13		
	川崎病(注1)	1		1	5	0.02		
不明発しん症(注1)	2	10	10	17	0.06			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	280	2,098	4,639	12,317	29.68	415	419
眼科	急性出血性結膜炎						37	39
	流行性角結膜炎	3	27	12	14	0.38		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)		1	1			25	25
	無菌性髄膜炎	1	4	2	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎		5	4	4	0.16		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			1				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)(注4)	2	2	1	4	0.16		
	インフルエンザ入院	8	31	42	61	2.44		

2014/1/29集計

- (注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 (注2) 鳥インフルエンザを除く。
 (注3) インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 (注4) 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、警報基準を超えた。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、増加し、警報状態が続いている。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、前年と比較して高い値で推移している。
- ・インフルエンザ入院の定点当たりの報告数は増加し、基幹定点からの報告数は60人を超えた。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

みなと

- ・ウイルス性胃腸炎 29名中、ノロウイルス 6名 ロタウイルス 2名

墨田区

- ・ノロウイルス 2名

世田谷

- ・ロタウイルス 1歳児 1名
- ・ロタウイルス 4名

中野区

- ・4歳児の水痘は、B型インフルエンザ罹患中に発症しました。

荒川区

- ・ロタウイルス 1名、O25 1名
- ・咽頭結膜熱 1名、アデノウイルス咽頭炎 1名
- ・病原性大腸菌 O1 2名

池袋

- ・ノロウイルス腸炎 4名

板橋区

- ・ノロウイルス 50代 1名
- ・カンピロバクター 1名、病原性大腸菌 1名

足立

- ・アデノウイルス 4歳児 1名

葛飾区

- ・アデノウイルス扁桃炎 2歳児 1名

八王子市

- ・アデノウイルス腸炎 0歳児、1歳児 各1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 5歳児 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 8か月児、11歳児 各1名、1歳児 2名

多摩小平

- ・アデノウイルス腸炎 1名、ノロウイルス腸炎 3名

※「インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント」は15ページに記載

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年4週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	24			19	7			3			
6～11か月	21	2		113	6			34			
1歳	23	12	11	332	34	5	3	67		1	1
2歳	12	12	29	267	38	1	6	6			2
3歳	4	7	49	267	41	1	8	4			2
4歳	1	5	78	274	42	1	16	2	1		6
5歳		2	91	265	43	1	12	1		1	7
6歳		6	91	220	15		17	1			5
7歳			72	196	19		8				3
8歳		2	46	165	7		4				3
9歳			46	138	4		5				
10～14歳		3	74	461	9		5				3
15～19歳		1	3	132	4		1				2
20～29歳		5	32	548	29		2			2	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	85	57	622	3,397	298	9	87	118	1	4	34
先週比		-1	218	461	97	-4	-21	-31	-1	2	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1		21							1	1
6～11か月		4	124								1
1歳	2	4	376		2					1	2
2歳		3	455		1						6
3歳	1		531		1						3
4歳		2	718							1	1
5歳	1	1	792							1	3
6歳			946								4
7歳		1	1,024								1
8歳		2	857								
9歳			725				1	1			
10～14歳			1,866		1			3			2
15～19歳			428		1						1
20～29歳			632								3
30～39歳			1,095		3						3
40～49歳			970		3		1				2
50～59歳			414		2						5
60～69歳			208								9
70～79歳			106								6
80歳以上			29								8
合計	5	17	12,317		14		2	4		4	61
先週比	4	7	7,678		2	-1			-1	3	19

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年4週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	0.33			6.33	1.00			0.33			
中央区			2.00	8.33	1.00						0.33
みなと	1.00	0.33	1.33	14.00	0.67		0.33	0.67			0.33
新宿区	0.75		1.63	8.25	0.13		0.13	0.13	0.13		0.13
文京		0.25	0.50	7.75	0.50		0.50	0.50			
台東	0.50		1.00	14.00	0.50			0.50			0.25
墨田区	0.80		1.20	7.40	0.80			0.40			
江東区	0.33	0.22	2.44	24.00	0.44	0.11	0.11	0.78			0.11
品川区		0.50	3.13	13.13	0.63		1.50	0.75			
目黒区			0.40	5.20							
大田区	0.54	0.92	2.23	13.62	1.62		1.38	0.38			0.08
世田谷	0.13	0.44	2.25	12.38	0.94		0.81	0.25			0.13
渋谷区	0.25	0.25		15.00	0.50			0.25			
中野区	0.14		1.14	15.00	1.00		0.14	0.43			0.29
杉並	0.20	0.20	1.60	10.00	0.40	0.20	0.20	0.50			0.40
池袋	0.60	0.80	0.60	7.00	6.20		0.60				
北区	0.29	0.14	1.14	8.29	1.43	0.14		0.71			0.14
荒川区	0.50	0.25	3.75	14.75	1.25	0.25	0.25	0.50			0.25
板橋区			1.20	5.70	0.90			0.40			0.30
練馬区	0.42	0.08	1.92	10.00	0.17		0.08	0.33			0.08
足立	0.23	0.08	0.92	16.69	0.92			0.62			
葛飾区	0.13	0.13	0.63	11.63	1.50			0.13			
江戸川	0.33	0.17	6.50	16.00	1.08		0.92	0.67		0.08	0.08
八王子市	0.82	0.27	5.55	20.64	2.09		0.09	0.73			0.36
町田市	0.13	0.25	10.38	26.50	1.25		0.75	0.13			0.25
西多摩	0.25	0.38	1.25	8.25	3.75	0.25		0.38			
南多摩	0.11	0.22	2.33	11.78	1.67			0.22		0.22	0.22
多摩立川	0.36		2.86	12.79	0.14			0.50			0.07
多摩府中	0.38	0.10	1.86	16.86	1.38	0.10	0.10	0.57		0.05	
多摩小平	0.29	0.21	2.50	8.36	1.29		0.36	0.71			0.21
島しょ							5.00				
東京都	0.32	0.22	2.37	12.97	1.14	0.03	0.33	0.45	0.00	0.02	0.13

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.33	22.00								0.50
中央区			26.80		1.00						
みなと			23.89								1.00
新宿区	0.13	0.13	19.91					1.00			0.50
文京			27.00							1.00	4.00
台東			14.57								
墨田区	0.20		33.88				1.00			1.00	1.00
江東区		0.11	28.36								
品川区			17.75								
目黒区			9.75		1.00						
大田区	0.08	0.23	21.81		0.50						
世田谷		0.06	27.72				0.50	0.50		0.50	4.50
渋谷区			17.00		4.00						9.00
中野区		0.29	24.82								
杉並			24.13		4.00						
池袋	0.20		25.88								1.00
北区			22.27								
荒川区	0.25		58.86		1.00						
板橋区			15.19								2.00
練馬区		0.08	29.68								
足立		0.08	31.90								
葛飾区			30.00								2.00
江戸川		0.08	29.11								
八王子市		0.27	51.78								6.00
町田市			41.00								
西多摩			39.07					1.00			5.00
南多摩			43.21								
多摩立川			33.57								1.00
多摩府中		0.05	34.00		0.33					0.33	3.67
多摩小平		0.07	34.50		0.50						3.50
島しょ			13.50								
東京都	0.02	0.06	29.68		0.38		0.08	0.16		0.16	2.44

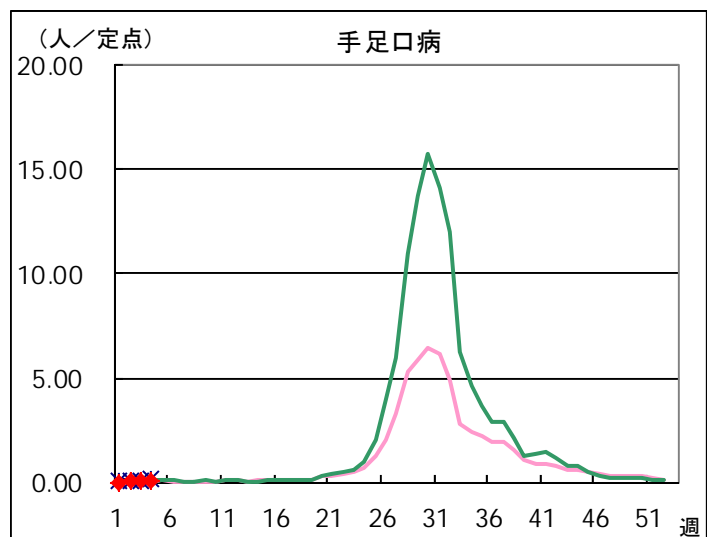
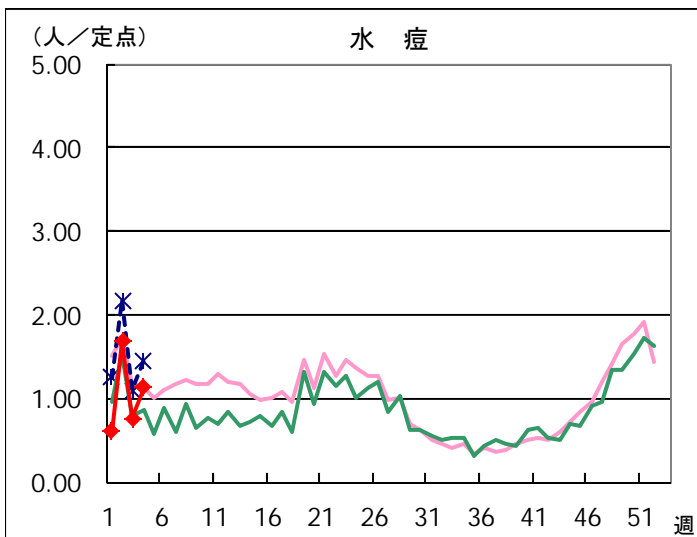
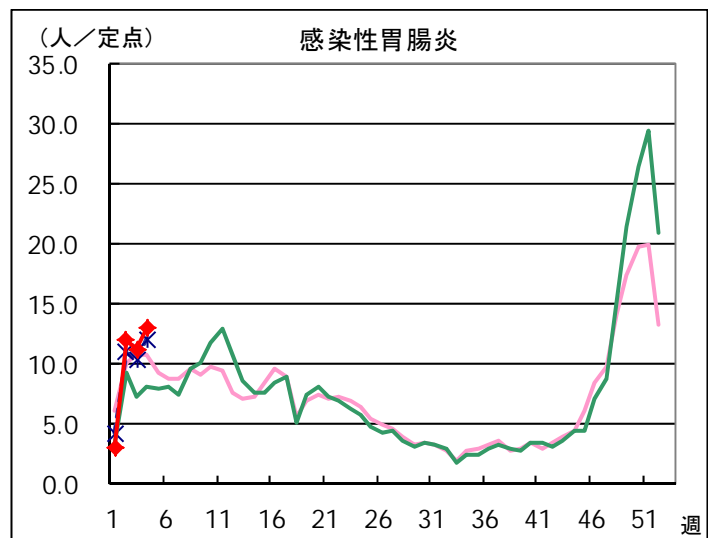
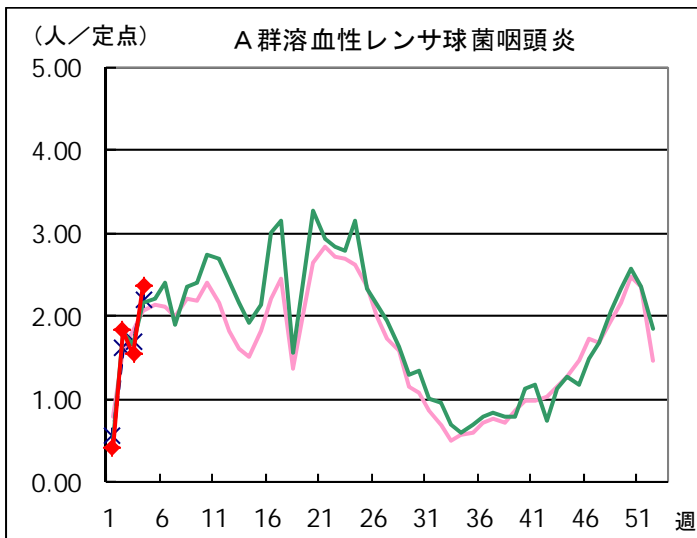
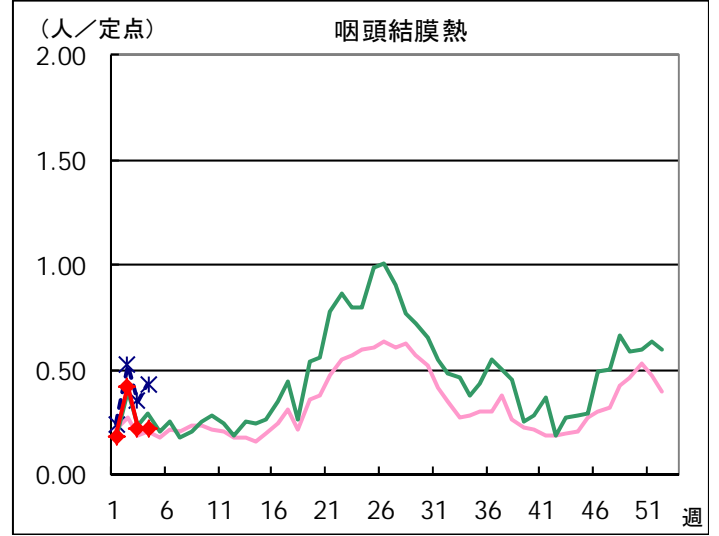
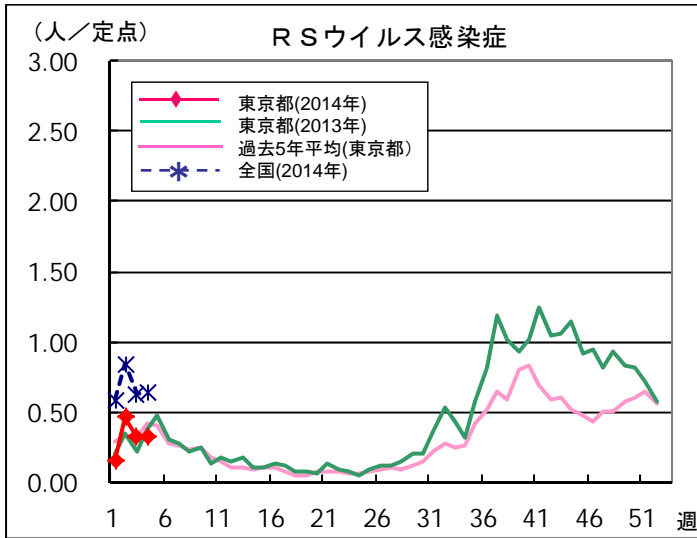
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年4週

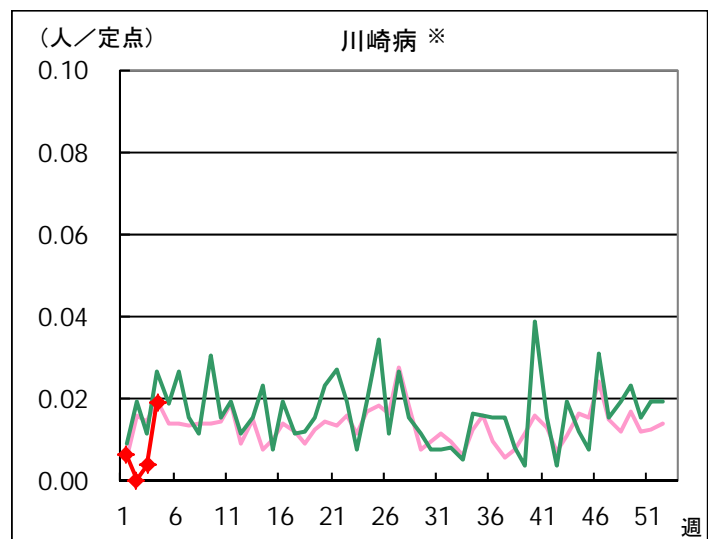
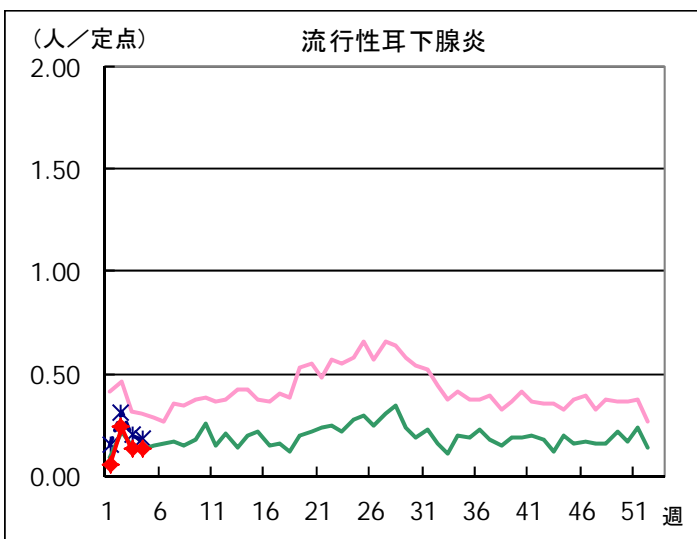
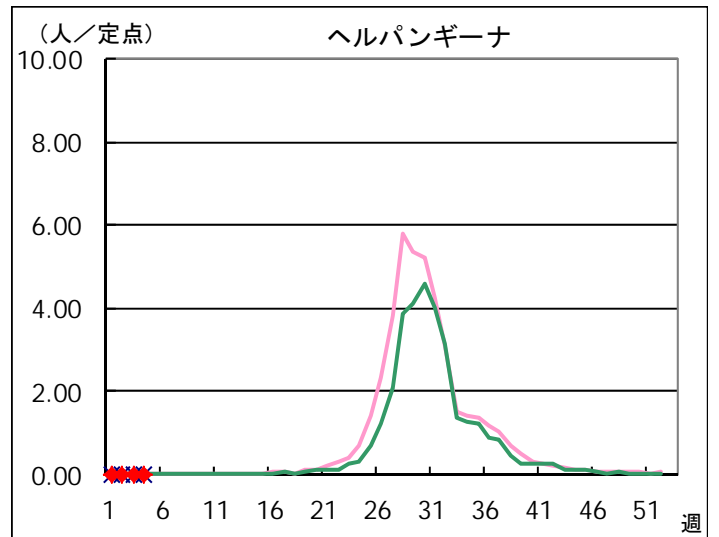
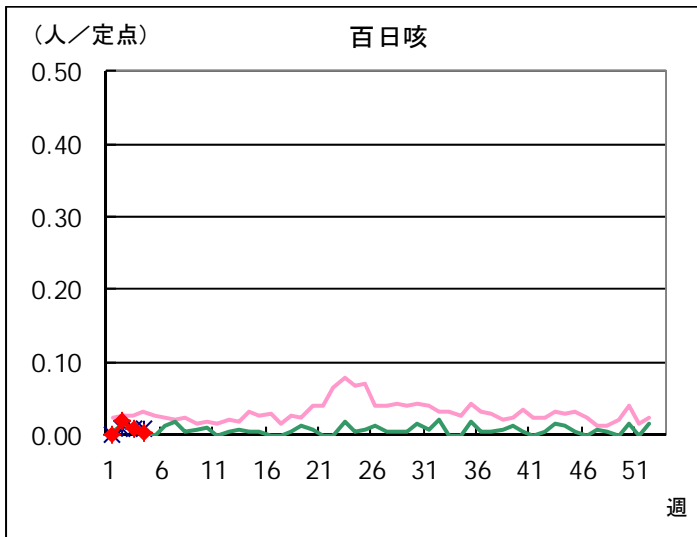
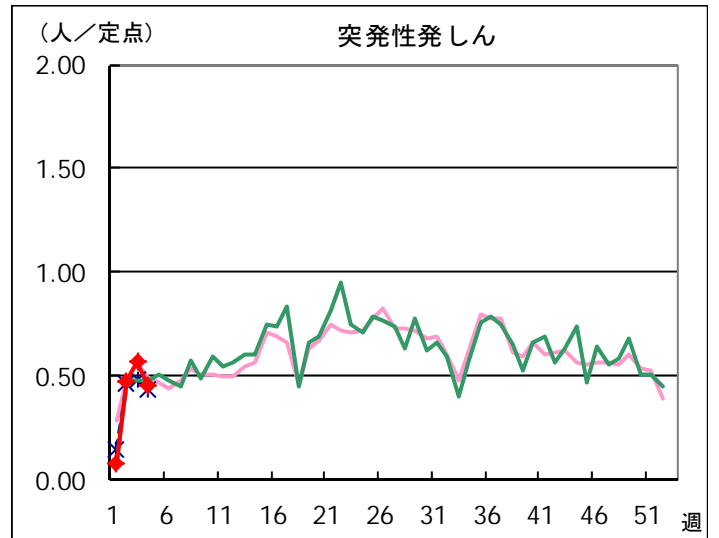
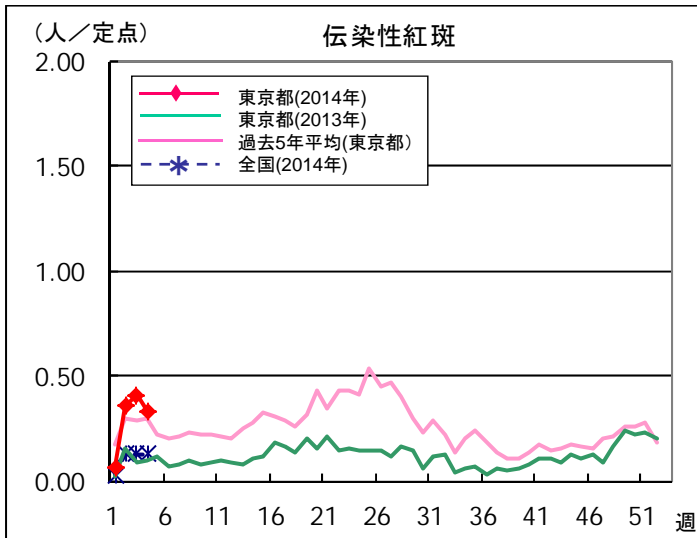
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1			19	3			1			
中央区			6	25	3						1
みなと	6	2	8	84	4		2	4			2
新宿区	6		13	66	1		1	1	1		1
文京		1	2	31	2		2	2			
台東	2		4	56	2			2			1
墨田区	4		6	37	4			2			
江東区	3	2	22	216	4	1	1	7			1
品川区		4	25	105	5		12	6			
目黒区			2	26							
大田区	7	12	29	177	21		18	5			1
世田谷	2	7	36	198	15		13	4			2
渋谷区	1	1		60	2			1			
中野区	1		8	105	7		1	3			2
杉並	2	2	16	100	4	2	2	5			4
池袋	3	4	3	35	31		3				
北区	2	1	8	58	10	1		5			1
荒川区	2	1	15	59	5	1	1	2			1
板橋区			12	57	9			4			3
練馬区	5	1	23	120	2		1	4			1
足立	3	1	12	217	12			8			
葛飾区	1	1	5	93	12			1			
江戸川	4	2	78	192	13		11	8		1	1
八王子市	9	3	61	227	23		1	8			4
町田市	1	2	83	212	10		6	1			2
西多摩	2	3	10	66	30	2		3			
南多摩	1	2	21	106	15			2		2	2
多摩立川	5		40	179	2			7			1
多摩府中	8	2	39	354	29	2	2	12		1	
多摩小平	4	3	35	117	18		5	10			3
島しょ							5				
東京都合計	85	57	622	3,397	298	9	87	118	1	4	34

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		1	88								1
中央区			134		1						
みなと			215								1
新宿区	1	1	219					2			1
文京			189							1	4
台東			102								
墨田区	1		271				1			1	1
江東区		1	397								
品川区			213								
目黒区			78		1						
大田区	1	3	458		1						
世田谷		1	693				1	1		1	9
渋谷区			119		4						9
中野区		2	273								
杉並			386		4						
池袋	1		207								1
北区			245								
荒川区	1		412		1						
板橋区			243								2
練馬区		1	564								
足立		1	638								
葛飾区			390								2
江戸川		1	553								
八王子市		3	932								6
町田市			533								
西多摩			547					1			5
南多摩			605								
多摩立川			705								1
多摩府中		1	1122		1					1	11
多摩小平		1	759		1						7
島しょ			27								
東京都合計	5	17	12,317		14		2	4		4	61

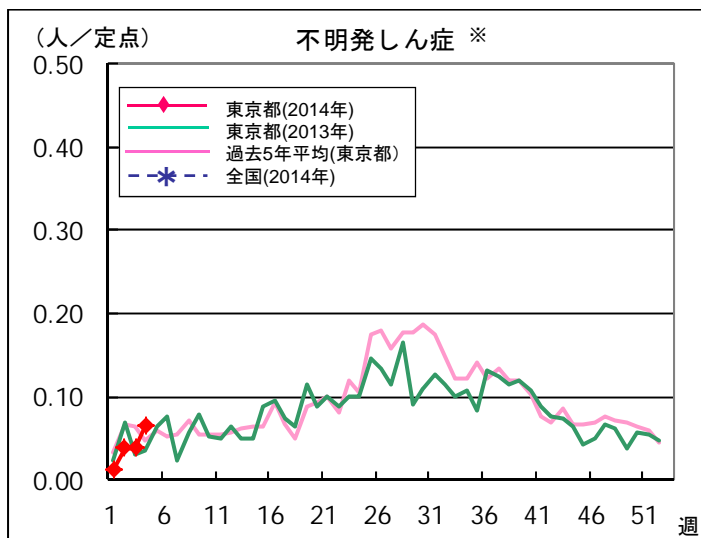
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年4週 現在)

◆ 小児科定点



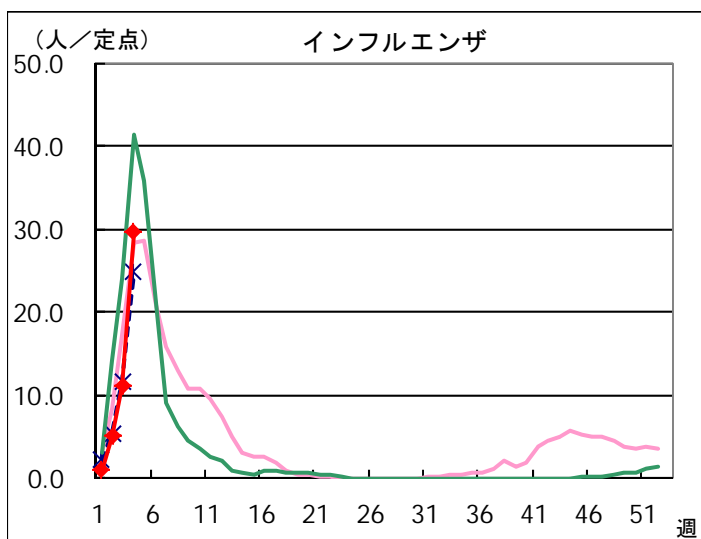


※ 東京都独自対象疾患

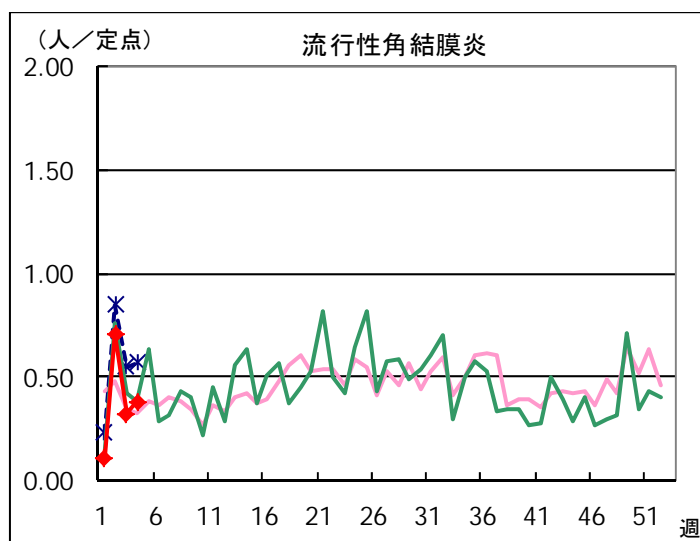
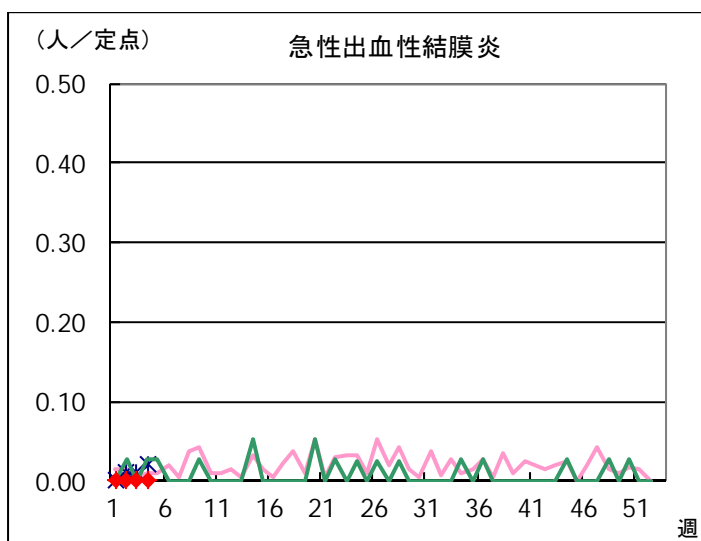


※ 東京都独自対象疾患

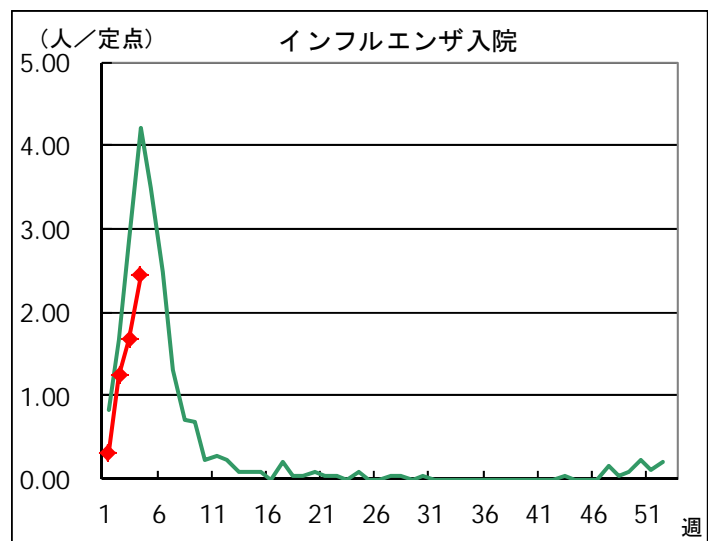
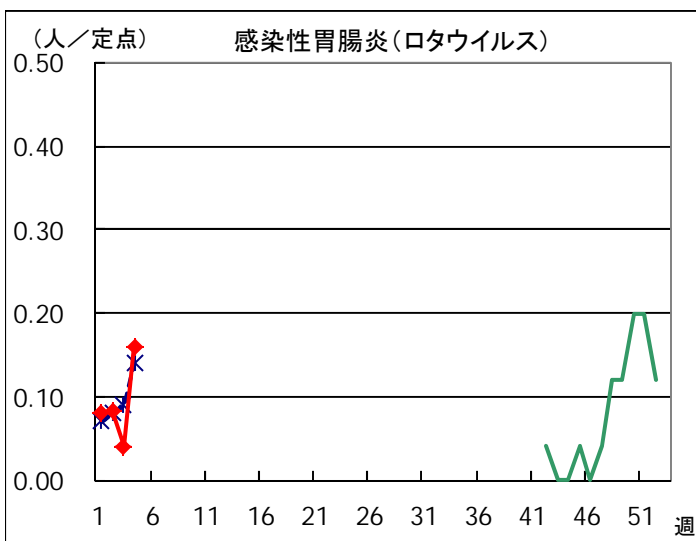
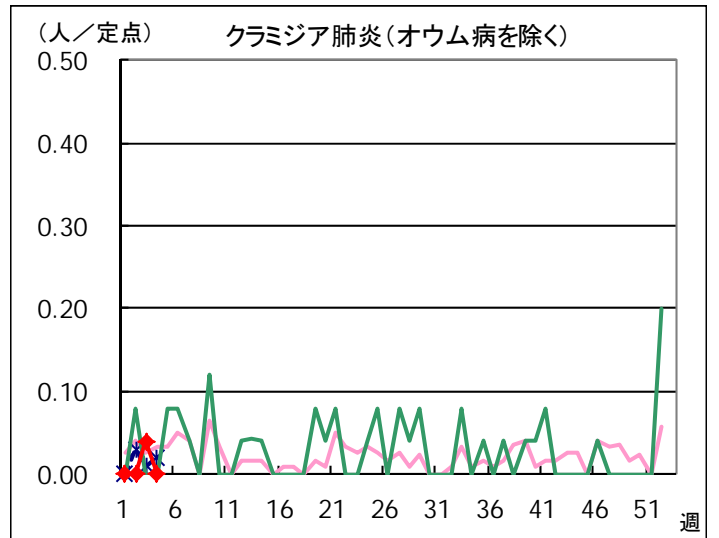
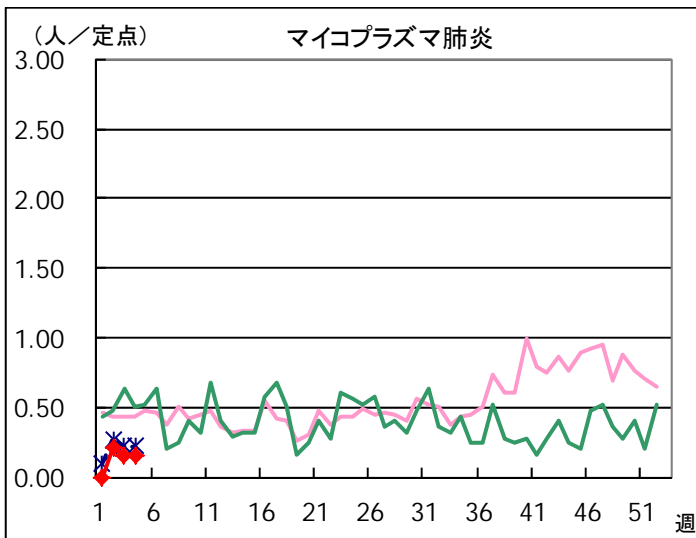
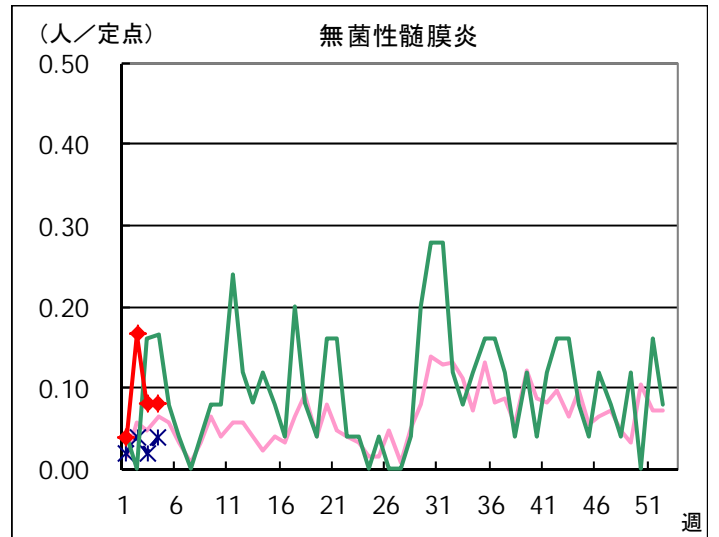
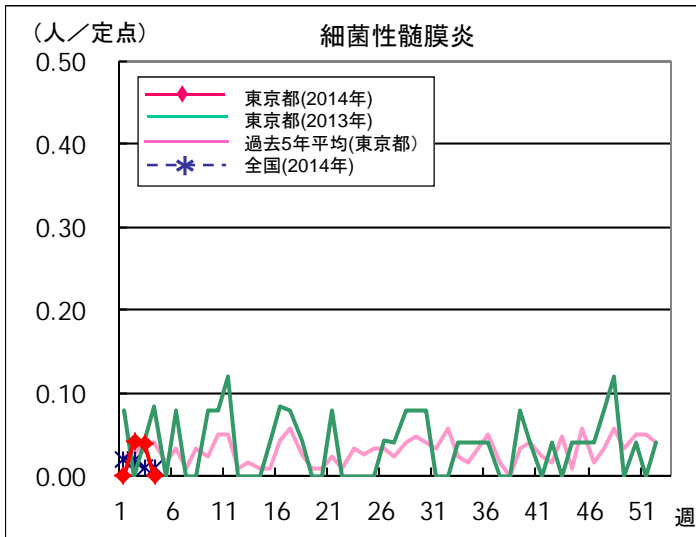
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント

管轄保健所	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	コメント
	A型**	B型	記載なし		
千代田	10	19		1	
みなと	86	31		4	・AH1pdm09型 29名
新宿区	28	10	6	3	・AH1pdm09型 4名
文京	74	32		3	・AH1pdm09型 7名
台東	39	21	31	5	・インフルエンザは兄弟(姉妹)、親子の感染が多い。
墨田区	168	101	3	8	・AB同時感染 1名
江東区	265	86	32	12	
品川区	84	64		7	・AB同時感染 1名
目黒区	45	23	10	7	
大田区	141	30	29	10	・AB同時感染 1名 ・予防接種済9名、未接種8人でした。まだまだ大流行とは言えないようです。
世田谷	158	153	48	13	・AH1pdm09型 4名 ・流行中
渋谷区	37	8		3	
中野区	148	120		11	・臨床診断 1名(2医療機関より) ・臨床診断 2名 ・臨床診断 3名 ・AB同時感染 2名
杉並	73	29	101	7	
池袋	42	14	35	3	・インフルエンザ流行中。A型はAH1pdm09型が40%強。
北区	99	68	41	8	・感染性胃腸炎とインフルエンザが同程度に流行しています。やはりインフルエンザはA型が主流です。
荒川区	175	133	2	4	
板橋区	34	20		2	・AB同時感染 1名
練馬区	170	61	51	10	・A型の90%はAH1pdm09型
葛飾区	218	91	4	11	・AH1pdm09型 5名 ・AB同時感染 2名 ・予防接種済はA型2名です。他の10名は未実施です。
江戸川	52	47	3	4	
八王子市	565	217		14	・臨床診断 1名 ・臨床診断 2名(2医療機関より) ・臨床診断 5名
西多摩	304	88		9	
南多摩	254	90	226	12	・狭い地域で大流行。低学年から徐々に高学年に広がる。週後半はB型も6名。
多摩立川	199	47	15	6	
多摩府中	190	94	1	14	・臨床診断 5名
多摩小平	251	129	91	13	・A型よりB型が多い
島しょ	27			1	・全員A型
総計	3,936	1,826	729	205	

* 迅速診断結果の報告があった医療機関数

2014/1/29集計

**AH1pdm09型を含む

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/12	気管支炎	8M	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
1/10	肺炎 上気道炎	11M	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/9	ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
1/11	気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス インフルエンザウイルス B型 ※	
1/10	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
1/12	気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/14	伝染性単核球症	2	咽頭拭い液	EBウイルス	
1/14	突発性発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
1/14	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/8	発熱 不明発しん症	3	咽頭拭い液	EBウイルス	
1/14	咽頭結膜熱 インフルエンザ	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
記載なし	弛張熱	5	記載なし	アデノウイルス	
1/8	上気道炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
1/8	急性扁桃腺炎	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス 71型	
1/14	伝染性紅斑	9	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
1/16	インフルエンザ	40	咽頭拭い液	エンテロウイルス B群	

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
3週	15		3	8
2013-2014年 シーズン累計**	31		20	20

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

** 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年					2014年		
		48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週
ウイルス	アデノウイルス	2	1	3	5	2		6	4
	ライノウイルス	5	2	4	3	3		1	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群	2	1						
	コクサッキーウイルスB群		1	1					
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71		3			2		1	1
	その他のエンテロウイルス	1		1					1
	単純ヘルペスウイルス							1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス			1					
	ヘルペスウイルス6/7	1		3	5	1		5	2
	EBウイルス		1	1		1			2
	サイトメガロウイルス								
	ムンプスウイルス								
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	2	1		2			1	1
	RSウイルス	1	2	1	2	1		1	5
	ノロウイルス	5	4	3	5	2		6	
	ロタウイルス			1					
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3	1		1		5		6	3
	インフルエンザウイルスB	2		2	1	1		4	8
インフルエンザウイルスAH1pdm09		1	2	2	4		7	15	
デングウイルス(抗体を含む)			1						
その他のウイルス	2	1	3						
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年48週～2014年3週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		77	13	26	34	21	8	1	3	1	5	8	16	3	1		1	49	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		4	2			5		2			1	4					5	
	ライノウイルス	1	2	4	2		1			1		1	4	1				1	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群			1									1					1	
	コクサッキーウイルスB群	2																	
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71		2	1	1						3								
	その他のエンテロウイルス	1		1							1								
	単純ヘルペスウイルス																		1
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													1					
	ヘルペスウイルス6/7										1		3						13
	EBウイルス		1	1										1	1				1
	サイトメガロウイルス																		
	ムンプスウイルス																		
	麻疹ウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19												5	2					
	RSウイルス		1	12															
	ノロウイルス				24														1
	ロタウイルス				1														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	16																		
インフルエンザウイルスB	16		1							1									
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30		1																
デングウイルス(抗体を含む)																		1	
その他のウイルス				6															
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			